

# 五十鈴の風

平成25年7月発行  
発行：市立伊勢総合病院

## 安心していただける医療を



- 新任医師の紹介 ······ よろしくお願いします
- 健康メモ ······ 膵癌について
- 院内各科紹介 ······ 循環器科
- 院内部署シリーズ ······ 経営企画室
- 院内トピックス ······ ①当院の臨床検査技師が優秀演題賞を受賞  
②最新のCT装置導入
- 看護部シリーズ ······ 手術室
- 栄養管理課だより ······ 「飲む点滴」の作り方



「お白石持 河崎六ヶ町」 中世古 健吾氏 撮影

### 事務局だより

皆様から『五十鈴の風』の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局(総務課 中村)までお願いします。

市立伊勢総合病院  
の基本理念

患者さんの立場より	愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
病院機能の立場より	良質かつ高度の医療
地域医療の立場より	円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

# 新任医師の紹介

よろしく  
お願いします



すずき ひろひと  
鈴木 厚人 (内科)

出身地: 静岡県  
出身大学: 三重大学  
前任地: 松阪市民病院  
一言: よろしくお願いします。



## 健康メモ

### すい 脾癌について

脾癌とは脾臓にできる悪性腫瘍のことです、年々增加傾向にあります。

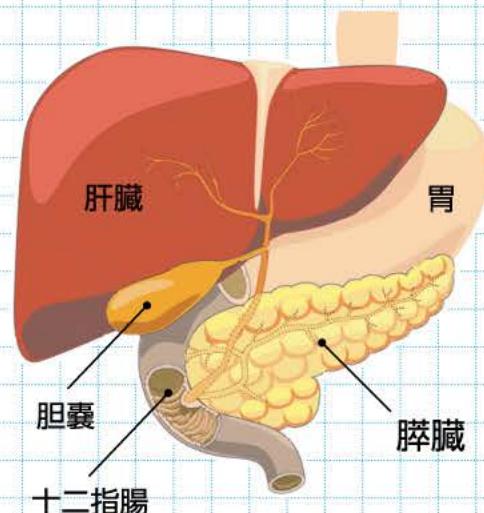
脾癌を発症した患者さんの既往歴で最も多いのは糖尿病で、全体の17%を占めています。慢性脾炎から脾癌を発症する例も多く見られます。また、遺伝性があることもわかっています。このほか、脾嚢胞の存在・喫煙・肥満も発症の危険率を増加させる重要な因子である事がわかっています。

脾癌は進行が早いのとは対照的に、症状が乏しく発見が難しい癌です。特に初期の癌ではほとんど症状が現れません。脾癌が進行すると、腹痛や食欲低下、体重減少、背部痛、黄疸などが現れるようになります。しかし、これらの症状は脾癌に限ったものでないため、これらの症状だけで脾癌と診断する事はできません。この事が脾癌の早期発見を難しくしています。

脾癌の完治が期待できる治療方法は、病巣部を手術によって摘出することですが、脾癌が発見された段階ではすでに進行していることが多く、摘出手術が行えない事も多々あります。また、手術が行えたとしても3年以内に再発する可能性が極めて高く、5年生存率は10~20%程度とされています。ただし、この統計は全ての進行度の患者さんを合計したもので、摘出する脾癌の大きさが2cm以下であれば5年生存率は約30%、それ以上の大きさであれば約10%程度となっています。脾癌の治療は初期のうちに治療することが重要で、早期発見できれば完治も十分に可能となります。

脾癌の早期発見のためには、脾嚢胞、糖尿病、肥満、脾癌の家族歴などの危険因子を複数もっている方は特に、たとえ無症状であっても危険因子群であることを十分認識し、専門病院で慎重に経過観察、定期的検査を受けて頂くことが重要です。まずは御相談下さい。

(外科 医師 武井 英之)





循環器科は心臓の病気はもとより、血管（動脈、静脈）の病気を扱う専門科です。

心臓や動脈は最も血圧の悪影響を受ける臓器のため、高血圧症の治療も当科の大きな仕事です。

2000年の調査では、30歳以上の日本人男性47.5%、女性43.8%が高血圧症と診断され、総数は男女約4000万人と報告されています（第5次循環器疾患基礎調査による）。今や国民病とも言える高血圧、及びそれにより最も障害される臓器を対象としているため、循環器科の患者は非常に多いのが特徴です。

しかるに昨今の医師不足の影響で、大学医局からの派遣医師は引き上げられ（伊勢志摩地区の循環器医集約のため身を削ることを求められ）、今や当院の循環器科は私一人となっています。

2002年に循環器科として独立科の形になっていますが、外来・入院も含め内科からは濃密な援助を戴き日常診療に当たっています。また、臨床工学士や検査技師、さらに看護スタッフの努力により、私一人でもこれまで行ってきた検査・治療を継続維持できるようなシステムを作り上げています。

人数が少ないと緊急への対応が非常に難しくなりますが、医師不足が解消されるまで、なんとか出来る範囲で診療を続けていきたいと思っています。

皆様の御協力に感謝いたします。

（循環器科 部長 江見 吉晴）

## 院内部署シリーズ

経営企画室は、新病院に向けた病院の経営状態を改善することを目的に、平成24年10月に新設されました。

経営企画室には企画係と診療情報管理係の2つの係があります。企画係は経営に直結する医師・看護師の招へいをはじめとする職員採用に関する業務や、経営改善に向けたさまざまな取組を行っています。また、診療情報管理係は、診療情報管理士による入院患者さんのコーディング（病気の分類）の確認、各種分析による適正な診療報酬の請求や請求漏れの防止に努めています。

これからも「笑顔で」、「積極的に」、「スピーディーに」をモットーに、経営改善と伊勢病院に活気を生み出すように頑張っていきます。

## 経営企画室



（経営企画室長 佐々木 一晃）

## 院内トピックス

### 当院の臨床検査技師が優秀演題賞を受賞しました



平成25年5月に香川県で開催された、第62回日本医学検査学会において、当院の臨床検査技師山田里子が、優秀演題賞《微生物部門》を受賞しました。

受賞に伴い、平成25年5月30日、授与された盾を手に、伊勢市長に同賞受賞の報告を行いました。鈴木伊勢市長から、山田技師に、あたたかいねぎらいの言葉をいただきました。

これからも、日々専門性の高い技術を磨き、その技術で患者さんを意識しながら、迅速かつ精度の高い検査結果を報告できるように努力していきます。

#### ●受賞演題

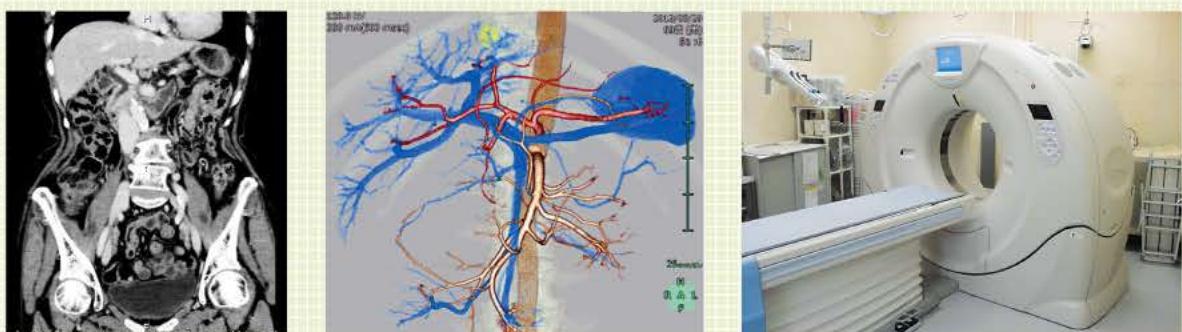
「便のグラム染色を行うことで発見できた寄生虫感染症  
～ジアルジア症とクドア・セプテンプンクタータによる食中毒の2症例～」

## 最新のCT装置導入

当院では、従来から2台のCT装置が稼働しておりますが、今回双方とも最新式の装置に、更新されました。一台は診断用に、もう一台は高精度放射線治療計画用、生検用及び診断用の補助機として用いております。

通常検査に用いております診断用のCT装置は、今回80列の検出器を備え、従来機（4列）に比べ短時間（1/3～1/5）で、しかも少ないX線量（25%～75%の被ばく低減）で撮影できるようになりました。すでにご経験された方からも“息止めが短くなって楽になったわ”とご好評いただいております。

画像におきましては、以前よりも高精細（0.5mm厚）な撮影が可能となったことに加え、造影剤の注入装置・画像処理装置の更新も行われたことで、下図のような広範囲での多断面画像や多相での造影3D画像を得ることが出来るようになりました。



今後も、装置の機能を最大限に生かして、より患者様の診断・治療・手術等に寄与できるような画像を撮影・配信していくことを考えております。

（放射線室長 浮田 和幸）

## 看護部シリーズ

## 手術室

手術室では、医師及び手術室の看護師だけでなく様々な部署、職種の人たちが関わり、患者さんに安全と安心を提供できるようチーム医療を行っています。また、少しでも安心して手術室で過ごして頂けるよう、術前の病室訪問によって、面識を深め、患者さんが不安や疑問に思うことを、話しやすくなるような雰囲気作りに心がけています。マスクで顔を覆っていますが、情熱と愛情をモットーに相手の気持ちに寄り添った看護をめざしスタッフ一同頑張っています。

(手術室 看護師長 林 香織)



## 栄養管理課だより



### 『飲む点滴』の作り方 ~脱水症に気をつけましょう!~

梅雨が明け、いよいよ夏本番の暑さがやってきました。蒸し暑い日本の夏は、脱水症に気をつけましょう。特に、体力の弱い高齢者や幼児の脱水症には注意が必要です。

高齢者は体内の水分量が少ないため、普段よりも多く汗をかくだけでも脱水症になりやすいです。のどの渇きを感じる前に、水分補給を心がけましょう。

#### 〈脱水症の症状〉

- のどの強い渴き
- あしづこの量が減り、色が濃くなる
- 皮膚が乾燥する
- 頭痛
- めまい
- 立ちくらみ
- 意識もうろうとなる

#### 〈脱水症の予防〉

- こまめに水分補給する
- 質のよい睡眠をとる
- 規則正しい生活をする
- 3食しっかり食事をする
- 通気性のよい服装をする

脱水症の症状が現れたときの水分補給には、経口補水液（飲む点滴）が最適です。

（重症の際、持病をお持ちの方は、早めに医療機関にかかることをおすすめします。）



#### 材料

- 砂糖……… 40 g (大さじ4・1/2)
- 食塩……… 3 g (小さじ1/2)
- 湯冷まし… 1リットル



#### 作り方

- 湯冷ましに材料を全て入れ、よくかき混ぜたら出来上がり。
- 果汁（レモンやグレープフルーツなど）を少し入れると、飲みやすくなります。



#### 飲み方

- 一気に飲まずに、ひとつからふたくちずつ、コップ1杯を30分程度かけて飲みましょう。
- スポーツドリンクの代わりに飲むには、塩分が多くすぎるため適していません。
- \*市販のスポーツドリンクは糖分が多く、塩分が少ないものが多いです。スポーツによるのどの渇きには適していますが、脱水症状が起きたときには、経口補水液の方が適しています。